

平成27年度事業報告(まちづくり推進課)

事業名 中央区校区カルタ制作事業

事業の概要・経緯

【事業概要】

各校区の魅力や自慢を歌いこんだ「校区カルタ」を地域住民が主体となって作成できるよう、地域に提案し、実施校区を募り、活動及び作成費用の支援を行うもの。
実施校区は、数回のワークショップを実施し、読み札案の素材の掘り起こしや、校区の勉強会、絵札案選定のためのまち歩き、読み札案作成などを行う。
作業を通して、地域の魅力を再発見し、参加者のつながりが深まり、連帯感が醸成される。
カルタ作りは、子どもから高齢者まで、幅広い世代が関わりあうことができ、まちづくり活動・地域活動への参加のきっかけとなり、地域コミュニティ活動の新たな人材が発掘が期待できる。また、職員が随時校区の作業に関わりあうことで、「顔が見える」、より身近な存在として認識される。

【作成実績】 各校区カルタ50部作成
平成26年度 1校区:出水校区
平成27年度 4校区:帯山西校区、黒髪校区、一新校区、砂取校区

【平成27年度予算・決算】

予算:3,700千円 決算:2,760千円(一般需用費:627千円・委託料:2,282千円)

事業の成果・反響

ワークショップの様子・読み札の選定



絵札・読み札 黒髪校区



カルタ作りに取り組んだ地域の声

- ・これまで知らなかった地域の魅力を知るきっかけとなった。
- ・子どもから高齢者まで、幅広い世代が関わりあうことができるツールになる。
- ・制作作業自体がまちづくり活動・地域活動への参加のきっかけとなり、希薄になりがちなコミュニティの活性化につながる。

課題

- ・作成を希望する地域についてはカルタが完成した。今後は、こちらからの働きかけで作成してもらうこととなるため、地域にやらされ感が生じないような工夫が必要。
- ・地域・行政ともに作成の負担が大きい。
- ・参加者は、既に地域活動で活躍している人が多く、校区活動に参加していないような人へのアプローチも必要。